

7-3 農牧省畜産官房の質問書に対する回答（パラグアイ）

農牧省 畜産官房

南米家畜疾病防除に関する調査団

1. 家畜疾病防除部門の一般概要

1) 疾病防除に対する方針及び活動計画

政策

パラグアイにおける獣医学的サービスの優先的目的は、主に商業的に重要な動物の改良と衛生の維持であり、このために国家レベルの防除及び撲滅計画が実施されている。獣医学的サービスでは、市役所、県庁、連盟及び関連機関等との協定を結び、官民の参加を促している。

また、現在国会にて、獣医学的サービスの統一化を図った法案が審議されている。

活動計画

現在実施中の衛生事業は次の通りである。

口蹄疫撲滅のための国家計画

牛のブルセラ病防除及び撲滅のための国家計画

牛の結核防除及び撲滅のための国家計画

ニューカッスル病撲滅のための国家計画

豚コレラ撲滅のための国家計画

牛の狂犬病防除のための国家計画

馬の伝染性貧血病防除及び撲滅のための国家計画

活動計画

付属書を参照。

2) 関連組織の名称、位置、活動及び組織図

組織図 1 及び 2 を参照。

公的な獣医学的サービス

獣医学的サービスの機構

パラグアイの公的な獣医学サービスは、畜産官房(VMG)と国家家畜衛生局(SENACSA)の二つの組織によって構成されており、これらの組織図は、それぞれ図 1 及び 2 に示すとおりである。

A. 畜産官房

畜産官房は、国内の畜産部門及び漁業に関する、生産、衛生、動物の売買、製品、副産物及び加工品の振興のための政策の策定と実施を担当している。

機能：

- ◆ 当該分野に関連する政策の検討と促進、これらを承認及び実施する。
- ◆ 当該分野に関連する法的措置、基準及び手順の検討と提案をする。
- ◆ 、定められた総体的及び特定目的に従い、適用が該当する法的措置、基準及び手順の監督と管理をする。
- ◆ 法律又は当局の委託により畜産部門の省令を策定する。
- ◆ 計画に沿って、畜産官房や所管する組織の計画、企画及び事業に基づき、内部で予算の承認を行い、当局へ提案し、これを実施する。
- ◆ 当該組織と畜産部門の信用政策を策定及び調整する。
- ◆ 前述した目的に関連する研究及び調査を計画・実施する。
- ◆ 農村開発計画の策定及び実施に参加する。
- ◆ 生産、流通及び消費の改善に向け、農民組織を促進する。

- ◆ 他の組織と野生生物や家畜及び鶏の疾病の管理及び感染に関連する疫病関連調査を促進及び調整する。
- ◆ 畜産官房及び部署の人事を当局に提案し、承認後、契約、任命及び移転を組織の構成に基づき行う。
- ◆ 行った活動に関連する統計情報とともに、畜産、家畜衛生等意思決定の改善に役立つ情報を収集、分類、分析、作成及び処理する。
- ◆ 法的に定められた畜産部門に関連する登録の更新を行う。
- ◆ 当該部門の無料又は有料の技術支援又はサービスを提供し、当該料金の設定を当局に提案する。
- ◆ 定められた目的、計画、企画及び事業及び予算に従い、人材及び国内の畜産農家に対し訓練事業を展開するとともに、関連する組織と調整する。
- ◆ 組織の順調な機能に必要なと思われた場合、官房の部署や局の設置を当局に提案する。
- ◆ 畜産部門に関連又は利害のある民間部門又は国際機関との連携を設け、これを維持する。
- ◆ 行った活動の評価制度を設け、維持するとともに、官房及び局の執行予算を毎年承認する。
- ◆ 官房決済により、組織の順調な機能に必要な手順を設けるとともに、定められた権限の範囲でこれを改訂する。
- ◆ 現行の法律で明記されている限定要素を除き、また人材、資源及び財源を考慮し、前述した目的を達成するため、必要な行為、協定及び提携を結ぶ。
- ◆ 所管する分野において諮問委員会や指導のための委員会の結成を当局に提案する。

B. 国立家畜衛生サービス(SENACSA)

国立家畜衛生サービス(SENACSA)は、口蹄疫、豚コレラ及びニューカッスル病の撲滅、牛のブルセラ病、牛の結核及び馬の伝染性貧血病の防除と撲滅、そして牛の狂犬病防除を使命とする機関である。

この組織は、同時に総局長を務める理事長と6名の正規委員と5名の補欠によって構成される理事会によって率いられている。理事は農牧省(2名)、国立アスンシオン大学獣医学部(2名)、パラグアイ農村連盟(4名)、パラグアイ獣医連盟(2名)の推薦により行政権が決定する(正規委員及び補欠を含む)。

計画された活動を実施するために、組織は研究所部門、技術サービス部門、総務、事業調整部門、地方部門によって構成されている。

3) 疾病の現況と問題点

口蹄疫、牛の結核、牛のブルセラ病、牛の狂犬病、豚コレラ、馬の感染性貧血病とニューカッスル病は国立家畜衛生サービス(SENACSA)の所管となっている。付属書1を参照。

この他にも、狂牛病のモニタリング事業も存在しており、OIEの基準に従い行っている。また、この件に関し我国は、EUの科学委員会により地理的リスクIとして宣言されており、この国においてこの病気が存在する可能性は低いとされている。

このほか、畜産官房には家畜の疾病の大半(国家計画にふくまれていないもの)を診断するための研究所が整備されている。また、動物製品の品質管理及び無害性(inocuidad)(細菌、化学物理、獣医学薬品の廃棄物、環境汚染物及び同化物質(anabolizante))を管理するための研究所も有している。

4) 疾病の行政管理、研究及び試験(診断技術、ワクチンの製造)

付属書1を参照。

SENACSAが担当する疾病以外の診断技法については、OIEによって提言されているものが用いられている。

- 5) 疾病防除分野における国際協力のニーズ
- ◆ 次の研究室部門における人材の育成。
 - ◆ 診断(PCR、ELISA、immunohistoquimica(細胞免疫科学?))
 - ◆ 動物性製品の品質管理及び無害性。
 - ◆ 生物製品及び薬品の品質管理及び無害性。
 - ◆ 研究所の品質管理を目的とした監査体制。
 - ◆ 疫病のリスク分析
 - ◆ 要素の判定：疫病的調査
 - ◆ 分析：健康への影響の可能性の判断及びリスク要素の影響度合い。
 - ◆ リスク管理：決断のための分析。
 - ◆ コミュニケーション：情報交換

2. 南米家畜疾病防除部門における広域協力。

1) 広域協力への参加の意向

a) 本広域案件への参加が適当な国はどの国か？

メルコスール加盟国及びチリとボリビア。

b) 理由は？

環境的な条件と生産条件が揃っており、病理も似ている。

c) これらの国に対する感想及び参加候補の国に対する希望及びその範囲。これらの諸国の公的機関及び国際的な組織とは共同作業の経験があり、いくつかは JICA によって連携されたものがある。

2) 貴国において参加する候補機関は？

- ◆ 農牧省の畜産官房
- ◆ 国立家畜衛生サービス
- ◆ 獣医学部
- ◆ パラグアイ農村連盟
- ◆ 生産者連盟

3) 広域協力において期待される特定課題及び活用できる資源

課題：第5点目の3番を参照。

人材：

畜産官房の人材

	事務	DPP	DINOCOA	DIPA	計
獣医	6	32	39	27	104
技術者	3	7	40	12	62
事務員	5	11	2	18	36
補助員	52	27	40	117	234
計	66	77	121	174	438

SENACSA の人材

国の衛生 行政区分	専門家	技術者	事務員	計
中央	50	22	150	222
研究所	21	30	15	66
地方レベル	102	196	102	400
地方局	14	6	10	30
第1区分、コンセプトン	7	11	4	22
第2区分、サン・ペドロ	7	15	11	33

第3区分、コルディリエラ	4	8	6	18
第4区分、グアイラ	4	6	2	12
第5区分、カアグアス	4	12	6	22
第6区分、カアサパ	3	6	6	15
第7区分、イタプア	6	10	6	22
第8区分、ミシオネス	5	16	3	24
第9区分、パラグアリ	5	13	8	26
第10区分、アルト・パラナ	6	9	3	18
第11区分、セントラル	4	9	3	16
第13区分、アマンバイ	3	7	3	13
第14区分、カニンデジュ	4	9	3	16
第15A区分、プレシデンテ・アジェス	6	17	9	32
第15A区分、プレシデンテ・アジェス	4	14	3	21
第16区分、アルト・パラグアイ	3	5	1	9
第17区分、ボケロン	9	12	1	22
計	173	248	267	688

組織：

- ◆ 畜産官房：法律 81/92 号。組織図を参照
- ◆ SENACSA：法律 91/99 号。組織図を参照

設備

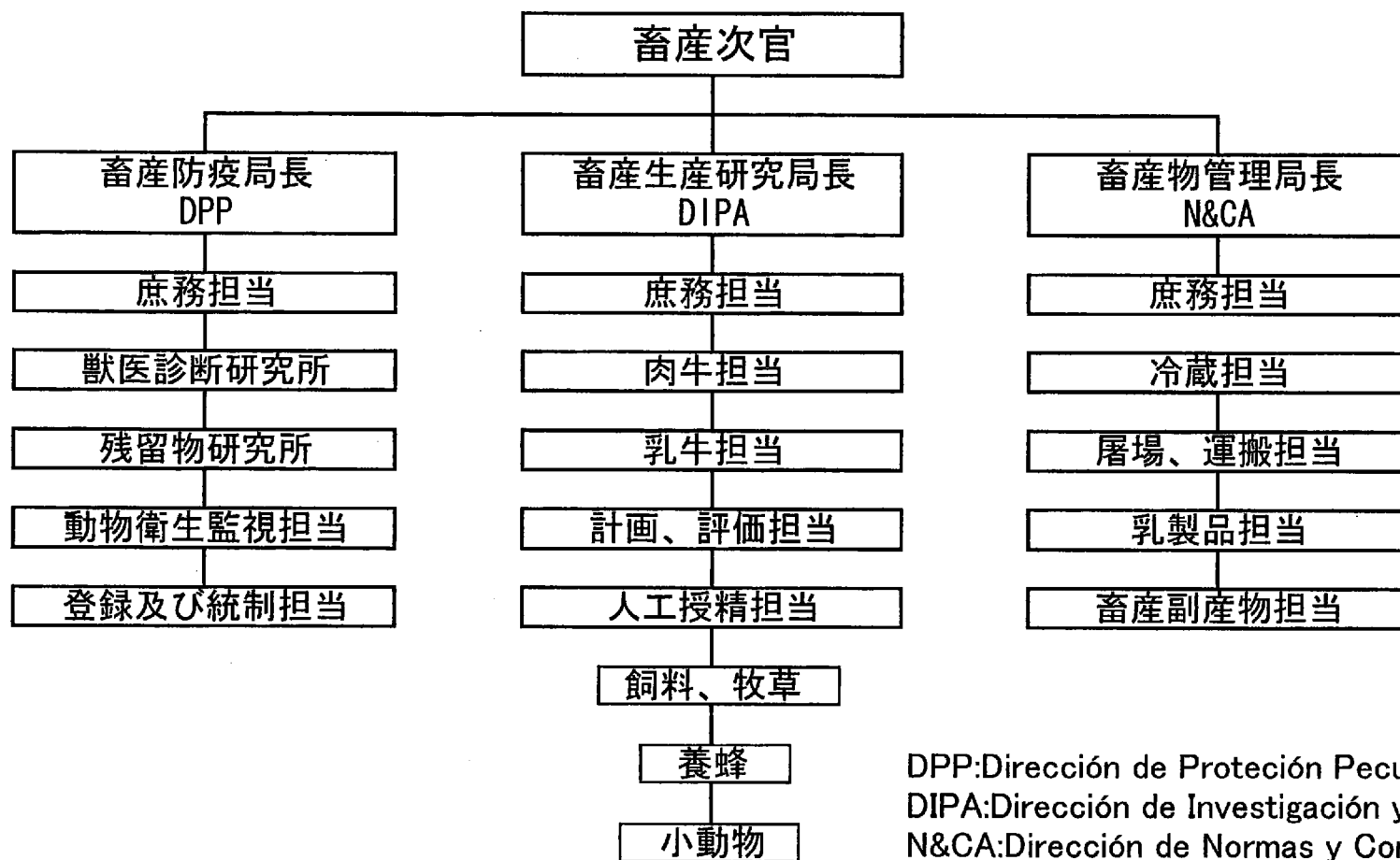
- ◆ SENACSA の中央研究所
 - ◆ 獣医学研究及び診断研究所(LIDIIV)
 - ◆ 廃棄物管理研究所
 - ◆ 技術サービス局(SENACSA)
 - ◆ 疫病監督部
 - ◆ 畜産研究局(DIPA)
- (添付資料の組織図を参照)

機材：インキュベータ、安全キャビン、フリーザ、スペクトル・フォトメータ(可視光)、Soxlet、Kjedhal、蒸留水製造機及び rotavapor、冷蔵及び一般遠心分離機、体細胞カウンター、microtomos、HPLC、マイクロ遠心分離機、lectores、暗室、顕微鏡、ELISA 読取機等。

- 4) 広域協力案件における優先分野（必要性の高い分野）
 - a. 人材：技術者及び熟練者の育成及び再訓練。
 - b. 組織部門：普及及び獣医学的サービスの組織。
 - c. 疾病防除技術部門：疾病診断技術に関する育成及び再訓練、ワクチンの製造、獣医学的に利用される製品の品質管理、対応すべき急務な疾病に関する情報。
- 5) 実施中の関連する案件
 - ◆ パラグアイの家畜衛生部門に関するアルゼンチン、日本及びパラグアイ当局とのパートナーシップ技術協力事業。
 - ◆ 中小規模酪農家運営改善計画
 - ◆ 当該部門に関連する組織との国内協定
- 6) 広域案件を実施するにあたり存在する阻害要因、事前に必要とされる国内又は国際規定

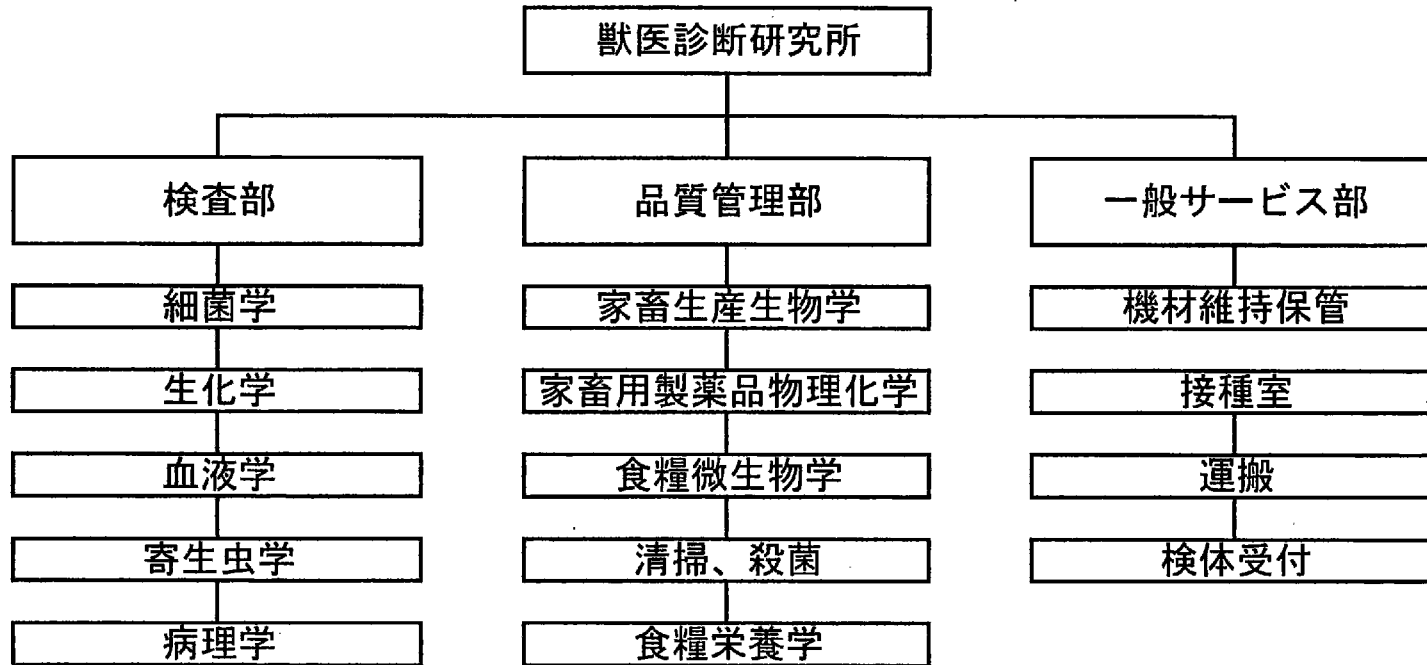
無し。

畜産次官担当部局



DPP: Dirección de Protección Pecuaria
 DIPA: Dirección de Investigación y Producción Animal
 N&CA: Dirección de Normas y Control de Alimentos de Origen Animal

獣医診断研究所



畜産官房
活動報告

2001年1月から10月
2001年11月

農牧省
畜産官房

農牧大臣

ペドロ・リノ・モレル 農業技師

畜産次官

ホセ・ルイス・ラネリ 医師

技術企画及び調整

クリスチナ・ビタレ・デ・ベラスケス 医師

統計及びコンピュータ

エルマ・ペレス 医師

(印)

家畜防除局

ウゴ・エフェ・イドジャガ 医師

動物性食品・副産物の基準及び管理局

アントニオ・セミデイ 医師

畜産・研究局

ルベリオ・エメ・カテベケ 医師

協力者

マベル・ミランダ

ルイス・エリセチェ

内 容

前書き	1
畜産物の生産及び流通	1
国内市場	1
国際市場	2
研究及び試験	3
技術支援及び育成	3
第三者へのサービス	3
消費者保護に関する組織的サービス	3
小規模農民の生産改善及び促進に関する支援サービス	4
動物、畜産製品及び副産物の輸入許可	4
牛乳及び加工品の衛生検査	5
漁業品の衛生検査	5
地域及び地域外の活動	6
次官の国際的イベントへの参加	6
局長及び担当者の国際的イベントへの参加	6
署名した協定	6
プロジェクト	7
人材育成	8
国外	8
国内	9
イベントへの参加	13
国内	13
国際	13
付属書	14
用語集	25

(印)
農牧省
畜産官房
技術企画及び調整

次官官房

活動報告

期間：2001年1月から10月

前書き

畜産官房は、規制、監督、促進、畜産支援、加工及び流通の円滑化等の活動を通じて、重要な活動を所管分野で、専門部署によって行い、人間の消費に向けた動物性食品の無害性を保証すると共に、国際市場での競争力の改善も図っている。

また、経済のグローバル化の課程の中で技術革新がもたらした基準の遵守は国際市場に参入するために不可欠であり、これを求めている。

このような目的を達成するため、畜産官房は3つの技術的な局(家畜防除、食品管理基準及び畜産研究)と2つの支援事務所(技術企画及び調整と運営)を有している。

現在、環境庁(SEAM)と署名した協定により、畜産官房は、公の所有となっている河川、小川及び湖における漁業と関連活動、魚の捕獲、管理、保護及び繁殖等、漁業権の乱用による環境の自然資源への害を阻止するため、漁業部門に関連する活動を支援している。

畜産官房が、今年度1月から10月まで行った主な活動は次の通りである。

1. 畜産物の生産及び流通

1.1 国内市場

国内の家畜生産は2000年6月30日現在で、牛9,736,865頭、豚1,781,200頭、羊402,092頭、山羊122,992頭及び鶏15,198,332羽となっており、畜産用地は、自然草地、改良草地及び森林を含み25,939,803ヘクタールとなっている。

この内、*間引き率(porcentaje de extraccion)*は13%であり、既存の家畜人口から約1,250,000頭の牛が屠殺可能であることを示している。

牛の総生産の内、セントラル県の展示会で国内消費用に販売されたのは250,648頭であり、様々な用途に使われている(冷蔵業者での屠殺、国内消費、屠殺、冬ごもり場等)。ここで畜産官房が行っ

た活動は、動物の衛生検査である。

冷蔵業者で屠殺された動物の頭数は、10月現在で477,615頭であり、内320,828頭分の肉が輸出に向けられ、156,787頭が国内消費であった。動物の生前及び死後検査、及び製品の検査は畜産官房が担当しており、このためにこれらの施設に派遣している獣医学検査員を通じて行っている。残りの約770,000頭に達する生産については、国内消費のため地方の屠殺場で屠殺されており、公的部門の職員による衛生検査が義務付けられている。

セントラル県の屠殺の集中化パイロット・プロジェクトが復活しており、14の屠殺場が関連している。グアイラ県及びエステ市では既に実施されている。このプロジェクトの目的は、設備基準及び廃棄物処理システムを導入することによって環境への影響を減少し、衛生的な製品を提供することである。

1.2 国際市場

2001年1月から10月までの肉の輸出高は、冷凍、冷蔵、臓器、及び缶詰を含み39,351,663Kgに達しており、前年度の同じ期間と比較して、7.3%増加している。輸出先については、55.54%がチリ、ブラジルが29.7%、ロシアが6%、残りの8.76%はコロンビア、ドイツ、エジプト、スペイン、サウジ・アラビア、イタリア等の国である。動物性の副産物と同様に、2000年と比較して26.5%増加している。

牛肉の輸出は、国内及び外国の当局が要求する衛生及び技術条件を満たす冷蔵業者が10社開設されて、円滑になっている。開設にあたり、外国(チリ、EU、ロシア、エクアドル等)の獣医による検査が行われている。

この中で重要なのは、エクアドル、ガボン、ルーマニア等、新しい肉の市場が開拓されたことである。

また、国の当局は、5つの鶏の冷蔵業者、豚の冷蔵業者3社の営業許可を発行している。その他、牛の屠殺場16社、豚6社、腸詰業者17社、肉及び副産物の運搬車281台、なめし工場17社、食べられない副産物の倉庫や貯蔵庫の許可を発行している。

許可された冷蔵業者

冷蔵業者	数	輸出先
San Antonio	3	チリ、ブラジル、イスラエル、南アフリカ、ペルー
Expacar	5	スイス、ペルー、チリー、コロンビア、キュラソー、アルゼンチン、ブラジル、イラン、南アフリカ、ロシア。
IPFSA	13	イタリア、チリ、ブラジル、ロシア、スペイン、コロンビア、ペルー、カナリア諸島、ウルグアイ、イスラエル、オランダ、ドイツ。
Guarani	17	ブラジル、チリ、ポルトガル、コロンビア、スペイン、アフリカ、イギリス、フランス、カナリア諸島、イスラエル、南アフリカ、ロシア。

Frigomerc	2	チリ、米国、ペルー、ロシア、サウジ・アラビア、ペルーオランダ、エジプト、ウルグアイ、ハンバーグ(PM)、ブラジル、コロンビア、アンゴラ(ルアンダ)。
Frigochaco	10	イスラエル、ペルー、アルゼンチン、コロンビア、エクアドル、ブラジル。
コンセプション		ブラジル。

2. 研究及び試験

この分野では、様々な生産部門（牛肉、牛乳、草地及び飼料、養蜂、羊及び山羊の生産）に関連した研究を、全国及び地方レベルで22件実施している。これらの業務は農牧省の試験場の他、当国様々な県にある個人の農家でも行われ、適正技術の開発と技術支援による生産者への移転が図られている。

3. 技術支援と育成

養豚、草地及び飼料、肉牛、人工受精、養蜂、漁業、及び牛乳、山羊及び羊の乳の生産と加工等について、全国様々な地点で433回の技術支援講習会を開催し、6,096名の生産者に貢献している。

畜産官房は、新しい作物の開発と生産の簡易化のため、促進と技術支援を通じて、中小規模農家の生産多様化計画強く推進しており、農民の食料の確保と生活水準の改善を図っている。

4. 第三者へのサービス

畜産官房の様々な部署が行うサービスにより、運搬車輛(牛肉、魚)、冷蔵業者、屠殺場、腸詰工場、なめし工場と獣医学製品の流通を行う業者等の許可及び登録に関する検査事業が行われた。

この活動は、動物製品及び副産物の加工施設や運搬の衛生条件を保護するため、公共衛生の保護にとって重要なものである。

このサービス中には、漁業活動の許可、獣医、動物、製品及び動物性の副産物、獣医学製品の輸入及び輸出業者の登録等も含まれている。

5. 消費者保護に係わる組織的サービス

このサービスは基本的に肉製品に関する廃棄物管理のための国家計画に対応するものであり、輸入国の要求を満たすためのものである。この他、国民に農薬、ホルモン剤、抗生物質等が無い高品質の製品を提供することを可能としている。この活動は、畜産官房の研究所の設置されている高度な化学的分析によって可能となっている。

また、サービスには、肉及び牛乳の細菌及び栄養の試験の他、蜂蜜及びプロポリスの品質管理等も

含まれている。

これらの計画を実施するため、SENACSA 及び肉の輸出業者連盟から予算的な補助を受けている。

6. 小規模農家生産改善及び促進のための支援サービス

畜産官房の主目的は、小規模農家と生産の多様化である。この一環として、家畜生産の改善のため小規模農家に無償又は特別価格で生産資材を提供している。この内、最も重要なのは、生産者コミッティー、小規模協同組合、農業学校及び普及事務所に対し、酪農促進を目的として 2990 回分の精子を供与したことである。

また、生産の多様化を支援するため、豚コレラに対するワクチンを 179,700 分、ニューカッスル病に対するワクチンを 2,293,500 分を 17 県の生産者に提供した。この他、全国すべての県を合わせれば 1007 名の所有者に対し様々な分析を 7471 件行っている。

7. 動物、畜産製品及び副産物の輸出許可

当国の獣医学サービスは、事前に屠殺場、肉及び加工品の処理施設の検査を行い、営業許可を発行し、様々な国の衛生条件を満たしたのものには、畜産物及び副産物の輸出許可を発行している。

この中で、チリ及びブラジルを主体として、牛肉、冷蔵品、冷凍品及び缶詰が合計 37,734,286kg の輸出、ペルー、ロシア、コロンビア、サウジ・アラビア、チリ等に臓物 1,617,377Kg、様々な形態で牛の皮が、スペイン、イタリア、香港、ウルグアイ及び中国に 17,032,527kg 輸出のための許可が発行されている。この他、ブラジルに向け獣脂 962,400kg の輸出、アメリカ、オランダ、イタリア等に向け 2,365,350Kg の犬用咀嚼物、ブラジルに向けた肉及び骨の製粉(HCH)3,778,000kg、ドイツ、フランス、イタリア等に向け内臓 1,330,806kg の輸出許可が発行されている。

外国の視察団

氏名	国	日付	目的
クラソーの代表	クラソー	01/05/4	市場開放のための商業・技術団。
ダニエル・ファインゴールド医師	イスラエル	01/06/10	冷蔵業者 Frigobeef, IFSA, San Antonio, Guarani, Frigochaco, Expacar, Frigomerc の視察訪問。
デービット・メルジェン・ウスダ	アメリカ	01/07/19	商業の技術的業務
モルツシ医師	南アフリカ	01/08/2	市場開放のため高官との面談。
エデュアルド・アプチャル	コロンビア	01/08/22 から 26	冷蔵業者 Frigobeef, IFSA, San Antonio, Guarani, Frigochaco, Expacar, Frigomerc の視察訪問と許可。
ルベン・ヌエサ医師	エクアドル	01/09/24	冷蔵業者 IFSA, San Antonio,

		から 28	Guaraní, Frigochaco, Frigomerc の視察訪問。
EU の技術者	EU	01/11/7 から 13	トレーサビリティ・システムと認可施設の検証。
ピエール・ジャコブと ハンス・ウェデルマン	南アフリカ	01/11/12 から 14	市場開放のための公式訪問
アルゼンチン技術段	アルゼンチン	01-10	ニューカッスルのための国家計画の審査及び輸出養鶏場の検査。

8. 動物、畜産物及び副産物の輸入許可

国の公的な獣医学サービスによって検査された品質及び衛生条件により、繁殖用の牛 378 頭、馬 79 頭、生後一日のヒナ 7,746,020 羽、牛の精液 71,698 分、様々な形態の牛の皮 1,201,812kg、ハンバーグ用の加工肉 271,254Kg、鶏肉 337,448Kg と腸詰 412,496Kg の輸入が許可されている。

この他、ロット方式で、6,896,025Kg の牛乳と加工品等の輸入が許可されている。

9. 乳製品工場 41 社における牛乳及び加工品の衛生検査

加工場に搬入する牛乳及び加工品は、本官房の獣医学サービス及び工場の専門家によって検査されており、共同作業によって販売される製品及び副産物の品質を改善している。

様々な工場に入荷する 109,866,275 リッターの生乳から生産される加工品はその量順に主なものを掲げると、低温殺菌牛乳 49,106,100 リッター、殺菌牛乳 37,012,506 リッター、ヨーグルト 16,680,970 リッターとなる。

また、41 社の乳製品工場及び 12 社のアイスクリーム製造会社が検査及び認可されている。この他、パラグアイへの輸出を希望するアルゼンチンの乳製品工場 37 社の検査が行われている。

10. 漁業産物の衛生管理

アスンシオン、アジョラス、コンセプション、ピラルール、エステ市及びエンカルナシオン等、主要な集荷センターにおいて国産の漁業産物の衛生管理を行った。

この他、輸出のための衛生証明書を 35 個、漁業産物の輸入許可を 55 個発行している。

11. 地域及び地域外での活動

11.1 次官の国際的イベントへの参加

- 2001 年 1 月 23 日から 26 日にフランスのパリで開催された OIE の口蹄疫及びたの家畜疾病

委員会に参加。

- 2001年3月15日から16日、口蹄疫に対する対抗運動のための南米委員会の定例会議。
- 2001年5月2日から4日まで、メキシコ市で FONTAGRO-FORAGRO の主催により開催された農業研究の地域的優先に関するアメリカ諸国セミナーに FONTAGRO の理事長として参加。
- 2001年5月27日、フランスのパリで開催された OIE の第69会総会に、OIE パラグアイ代表として参加。
- 2001年11月7日から13日まで、ヒルトン輸入割当の提供を目的として EU の経済ミッション。

11.2 幹部及び担当者の国際的イベントへの参加

- 第4回、2地域交渉委員会メルコスール-EU(2001年3月19日から22日、ブラッセル)。
- メルコスール-EU 協定の農業事業 ALA93/143 の家畜衛生サブ・プログラムの研究所部門の作業班の会議。
- 2001年、メルコスール動物衛生委員会の第一回会議(ウルグアイ、モンテビデオ)。
- 2001年、メルコスール動物衛生委員会の第二回会議。
- EU-メルコスール事業 ALA93 の年間活動計画(POA)承認会議(2001年3月、アルゼンチン、ブエノス・アイレス)。
- スペインの農業、漁業及び食料省の部署への技術訪問(2001年5月)。
- 口蹄疫に焦点を当てた風土病に関するセミナー(2001年6月、リオ・デ・ジャネイロ)。
- 疾病の診断のための分析技術調和のための技術班の作業会議。EU-メルコスール事業(2001年6月、ブラジル、レシフェ)。
- ヒルトン輸入割当を獲得するため、EU の衛生当局で手続きを行うためブラッセルに出張(2001年9月)。
- メルコスール・サブ・グループ3、食料委員会の第3回定例会議(9月、ウルグアイ)。
- メルコスール諸国動物衛生幹部会議(8月、パラグアイ、アスンシオン)。
- RINSA 会議(ブラジル、サン・パウロ)。

11.3 署名した協定

- 機材の供与・受領議事録。技術協力枠組協定。2001年1月30日、農牧省-アンティグア・イマヘン漁師組合。
- モラレス島漁師連盟及びカサクシア港漁師組合の協定議事録。2001年2月2日、VMC-OCP。
- 2001年2月8日、農牧省-ジャスレタ公団協定会議議事録-付属書1。
- 2001年3月13日、農牧省、畜産官房、パラグアイ獣医学連盟による獣医登録運営及び管理協定。
- 2001年4月10日、アルゼンチン共和国及びパラグアイ共和国の獣医学サービスの代表者の会議議事録。
- 2001年5月16日、畜産官房、SENACSA 及び獣医学部による、豚コレラ及びニューカスル病のワクチン製造に係わる協力協定。

- 2001年6月18日、パラグアイとエクアドルによる農業、畜産及び漁業のための技術協力協定の補足協定。
- 2001年8月2日、農牧省とカアサバ県庁の協定。
- 2001年8月23日、畜産官房とパラグアイ肉連盟の協力協定。
- 2001年9月24日、OCP活動の一環として環境庁と農牧省で省庁間協定。

12. プロジェクト

- 現在流通されていない原料の加工による乳製品の生産、生産性及び流通改善を目的とした、スペイン政府の協力による酪農部門改善及び開発事業。スペイン政府の協力額：10,986,072US\$。
- 繁殖効率に影響する伝染病の探知と体細胞の検査による牛乳品質改善体制の導入に向けた、国際原子力機関の協力による国際乳牛の繁殖効率改善計画。
- 中小規模酪農家の生産体系に適した技術の適用による生産性向上を図る JICA の協力によるパラグアイにおける中小規模酪農生産改善のための技術協力事業。JICA の協力額：5,000,000US\$。

13. 人材育成

13.1 外国

イベント	参加者	国	期間	ドナー
■ チリ市場における肉及び肉製品のモニタリングと評価	アントニオ・セミデイ 医師	チリ(サンチアゴ)	1週間	
■ 農牧衛生地域フォーラム	アントニオ・セミデイ 医師	ボリビア	3日	IICA
■ トレーサビリティ及び動物衛生に関連する要点に関する国際シンポジウム	アントニオ・セミデイ 医師	ブラジル(サルバドル)	3日	IICA
■ ELISA による繁殖に係わる疾病の診断。	ベルナルド・マルティ ネス学士	コロンビア (ボゴタ)	6週間	OIEA
■ 食品の無害性に関するリーダーシップ (モジュール1)	マリア・セ・マルティ ネス学士	コスタ・リカ(サン・ホセ)	1週間	IICA CERES FORUM
■ 食品の無害性に関するリーダーシップ (モジュール2)	マリア・セ・マルティ ネス学士	カナダ(ナイアガラ)	1週間	IICA CERES FORUM
■ 食品の細菌管理	ミルタ・ロペス・セ 医師	日本(神戸)	18週間	JICA
■ マイコトキシン(mycotoxin)の判定	デリア・ゴメス 化学技師	日本(神戸)	15週間	JICA
■ REDISAN ワークショップ	ブランカ・カバリエロ 医師	アルゼンチン(ブエノス・アイレス)	1週間	EU/MERCOSUR
■ 国際実習：二重目的の動物生産	ルベン・テリエス 医師	ベネズエラ、マラカイボ	2週間	OEIA
■ 動物繁殖のための国際コース	セルバ・ゴンサレス 医師	スペイン(マドリード)	1ヶ月	INIA(スペイン)
■ 山羊生産	ミルタ・ベニテス 医師	アルゼンチン(サンタ・フェ)	10日	FUNDA PAZ、 PRODECHACO、DIPA
■ 同調、再同調及び排卵(修士)	マルコス・メディナ 医師	アメリカ(カンサス)	2年	IDB
■ Group Training Course Foraje crops Production y Utilization	カルロス・レスカノ 農業技師	スペイン	5ヶ月	JICA

イベント	参加者	国	期間	ドナー
■ 安定剤、サルファ薬及び Thyrostatic の判定と分量設定	オスカル・イグレシア ス化学技師	スペイン	1ヶ月	EU/MERCOSUR 事業

13.2 国内

イベント	参加者	場所	期間	協力機関
■ 部位感染に対する免疫反応	セリア・ロペス医師	アスンシオン	3日	SPII
■ レプトスピラ病：研究所での診断	セリア・ロペス医師	アスンシオン	5日	OPS/WHO
■ リスク分析に関するワークショップ	セリア・ロペス医師 カリナ・コビス医師 ブランカ・カバリェロ医師 ヘルド・ボガド医師 サラ・デ・ルイス・ディアス医師 ベアトリス・シルゲロ医師	サン・ロレンソ	3日	MAG IICA SENACSA
■ リーシュマニア症	エリナ・デ・メンドサ医師 デルリス・オルチゴサ学士	サン・ロレンソ	3日	国際内臓リーシュマ ニア症委員会
■ 技術及び革新管理に関するワークショップ	セリア・ロペス医師 ミルタ・ベニテス医師 ウゴ・サンチェス医師	アスンシオン	3日	CONACYT
■ 獣医学サービスの品質管理に関する国際セミナー	ヘラルド・ボガド医師 ミルタ・ベニテス医師 クレセンシオ・カセレス医師	マリアノ・ロケ・アロンソ	3日	WHO/OPS COSALFA
■ 第一回公共衛生に関する講習会	ヘラルド・ボガド医師	コンセプション	3日	コンセプション獣医 学部
■ EEB 及び国際家畜貿易に関する国際シンポジウム	セリア・ロペス医師 ヘラルド・ボガド医師 ミルタ・ベニテス医師 ウゴ・サンチェス医師 テレサ・ベテニテス医師 グリセルダ・ロメロ	マリアノ・ロケ・アロンソ	3日	IICA MAG ARP
■ 口蹄疫及びその他卸売市場で発生している疾病、疫病監視の戦略	獣医検査官 40名 助手 40名	サン・ロレンソ	2日	DINOCOA/VMG

イベント	参加者	場所	期間	協力機関
■ 「製造での良き行い」に関する研修	獣医検査官 24名	サン・ロレンソ	1日	DINOCOA
■ 肉の細菌性汚染物	獣医検査官 24名	サン・ロレンソ	1日	DINOCOA
■ 冷蔵業者の検査及び管理手順及び活動指針の設定。	獣医検査官 24名	サン・ロレンソ	2日	DINOCOA
■ BPM への支援及び育成、冷蔵業者の検査官及びオペレータにより製品衛生とサンプリング	獣医検査官 4名 工場オペレータ 15名	アスンシオン	43日	DINOCOA
■ 肉の品質確保に関する新規概念の導入、獣医検査官の権限と責任	獣医検査官 20名	アスンシオン	10日	DINOCOA
■ 参加型計画の手法	マリア・イネス・ペラルタ農業技師 ペドロ・パニアグア農業技師 カルロス・レスカノ農業技師 エラディオ・ラミレス農業技師 ミルタ・ベニテス医師 ラモン・クルス氏	EEGC	5日	PRODECHACO
■ 第三回、草地及び牛の戦略的栄養補充。	マリア・イネス・ペラルタ農業技師 ペドロ・パニアグア農業技師 カルロス・レスカノ農業技師 カルロス・ロダス農業技師 ミルタ・ベニテス医師 リカルド・ゴメス氏 ヘルムット・ビリヤサンティ氏	マリアノ・ロケ・アロンソ	2日	獣医学部
■ 社会の組織化及び住民開発に関するワークショップ	ミルタ・ベニテス医師 エラディオ・ラミレス農業技師 ラモン・クルス氏	EEGC	5日	PRODECHACO
■ 組織改革に関するワークショップ	ブランカ・サリナス女史 テレタ・ベニテス医師	サン・ロレンソ	4日	MAG-DEAG
■ 獣医造影学に関するワークショップ	ウゴ・サンチェス医師 グリセルダ・ロメロ医師	サン・ロレンソ	2日	獣医学部
■ 細菌学に関するセミナー	セルバ・ゴンサレス女史 テレサ・ベニテス医師 ブランカ・サリナス女史	アスンシオン	1日	INTN

イベント	参加者	場所	期間	協力機関
■ 参加型農村診断に関するコース	ブランカ・サリナス女史	アスンシオン	2日	DGP
■ 牛の去勢：Risodiu 法	ビクトル・ロダス医師	コンセプション	3日	
■ 男性病学のコース	ビクトル・ロダス医師	サン・ロレンソ	1ヶ月	獣医学部
■ ローヤル・ゼリー及びプロポリス生産に関する技術会議	養蜂部の技術者全員	サン・ロレンソ	1日	MAG-VMG ブラジル人技術者
■ 蜜生産	養蜂部の技術者全員	サン・ロレンソ	1日	MAG-VMG アルゼンチン人技術者

14. イベントへの参加

14.1 国内

イベント	組織
■ 農村での技術支援及び育成に関する指針設定のための大会	パラグアイ農村連盟
■ 第9回、技術移転のための国際大会	CEA
■ 獣医学サービスの品質管理に関する国際セミナー	ARP
■ EEB 及び国際貿易に関する国際シンポジウム	ARP
■ メルコスール獣医学部の学長及び教授会合	FCV
■ 第1回、豚の病理及び臨床に関するセミナー	FCV

14.2 国際

イベント	国
■ ブラジルの農業及び供給省が開催した酪農に関する国際セミナー	ブラジル、サンタ・カタリナ
■ C. Rubino 神経院(FM)が開催した、動物及び人間のプリオンによる病気に関する国際シンポジウム	ウルグアイ、モンテビデオ
■ ラテン・アメリカ及びウルグアイ・ブイアトリア(Buiatria)国際連盟が開催したブイアトリア国際大会	ウルグアイ、プンタ・デル・エステ
■ 技術協力案件の企画	ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ
■ 国際技術協力に関するコンサル・ワークショップ	オーストリア、ウィーン
■ 家畜衛生及び生産にとって意味ある遺伝子改良生体のバイオ・セキュリティーの枠組基準	コロンビア、ボゴタ
■ 食料によって伝染される疾病の監視	アルゼンチン、ブエノス・アイレス

1. 展覧会で販売及び冷蔵業者で屠殺された牛

項目	頭数
a) セントラル県の展覧会で、2001年10月30日まで販売された牛	250,648
b) カアグアス県の展覧会で、2001年10月30日まで販売された牛	8,120
c) 冬ごもり用の展覧会で販売された牛	12,720
d) 消費及び冬ごもり用の展覧会で販売された牛	271,488
e) 2001年10月30日まで冷蔵業者の屠殺場で屠殺された牛	477,615
-内部消費	156,878
-輸出用	320,828
f) 2001年10月30日までの肉の輸出(割合)	
輸出先	
- チリ	55.54
- ブラジル	29.69
- ロシア	5.91
- その他	8.86
g) 臓物類の輸出(割合)	
輸出先	
- ペルー	40.69
- ロシア	21.67
- コロンビア	17.85
- その他	19.79

2. 試験研究

分野	試験数	位置	対象範囲
試験的巣箱の管理と育成	3箱 (60巣)	サン・ロレンソ、エ・アジャラ、リオ・ベルデ	地方
植物の地域的開花時期の登録	1(170種)	様々	地方
受精牛の非還元指数	1(50頭)	セントラル県	地方
体細胞検査、細菌の培養と同定(牛乳の品質)	1(250サンプル)	セントラル、コルデイリエラ県	地方
中央チャコにおける雑草、低木管理	2	リオ・ベルデ、312Km(EEGC)	地方
山羊のロット生産指数の評価	1	(EEGC)リオ・ベルデ、312Km	地方
チャコのパンパス地域における飼育群管理	1	EEGC	地方
ダチョウの飼育管理	1	EEGC	地方
肉牛生産の改善(展示圃場)	2	パラグアリ(バラリート試験場)	全国
肉牛の遺伝子的評価(中央オス牛試験場)	1	プレシデンテ・アジェス	全国
放牧での栄養補充が仔牛の肥育及ぼす影響の評価	1	アルト・パラナ(CATAPAR)	地方
小型反芻動物の疫病及び消化器の寄生虫防除	2	EEGC及びEEB	地方
巡回及び複合放牧管理による小型反芻動物の消化器の寄生虫防除	2	EEGC及びEEB	地方
羊の牧舎生産指数の評価	2	EEB、EEGC	地方
羊及び山羊のアルト・チャコ地方における生産指数の評価	1	EEGC	地方
計	22		

3. 官房が提供した技術支援

分野	対象県	講習会	受益者数	目標	ジェンダー
養豚改善及び衛生に関する講習会	グアイラ (ビリヤリカ)	1	生産者 30 名		
養豚農家への技術支援	複数	25	生産者 150 名		
豚及び鶏の生産に関する講習会	セントラル	3	生産者 60 名		
養鶏コース・モジュール 2 (育種、管理、飼養、衛生)	プレシデンテ・アジェス	46	生産者 622 名		
人工受精技術の訓練	プレジデンテ・アジェス アルト・パラナ ボケロン パラグアリ	1 1 2 5	生産者 33 名 生産者 33 名 生産者 65 名 生産者 100 名		
FCV、カルロス・ファネル院、SNPP の生徒との講習会	セントラル	5	生徒 208 名		
養蜂技術講習会	カアグアス サン・ペドロ セントラル プレシデンテ・アジェス ボケロン	150	生産者 1042 名	110 回	女性 20%
養蜂に関するコース	セントラル プレシデンテ・アジェス ボケロン	12	生産者 477 名	15 コース	女性 30%
養蜂の専門コース	セントラル	1	生産者 15 名		女性 25%
生徒のインターン	セントラル	2	生徒 15 名	2	女性 30%
管理、衛生、飼養、繁殖、改良に関する研修	コンセプション プレシデンテ・アジェス	8	177 世帯		
牛乳の衛生管理及び乳房炎に関する研修	コルディリエラ カアサパ プレシデンテ・アジェス	3	78 世帯		
乳製品の手芸的生産に関するコース	コルディリエラ カアサパ コンセプション プレシデンテ・アジェス	8	193 世帯		女性 100%

分野	対象県	講習会	受益者数	目標	ジェンダー
PRODECHACO の支援による、羊及び山羊生産農家に対する技術支援	プレシデンテ・アジェス ボケロン グアイラ カアグアス	18	800名		女性 20%
飼育結果の広報	パラグアリ イタプア	4	170	---	---
ロデオの管理、仔牛の飼育と肥育、生産コストに関する技術支援	セントラル	1	10	---	---
組織化された羊及び山羊生産農家への技術支援講習会	ボケロン プレシデンテ・アジェス	112	750 世帯		女性 40%
飼料生産に関する講習会	コルディリエラ	1	生産者 50 名		女性 18%
当国で栽培されている飼料作物、堆肥及びサイレージ生産に関する技術講習会	ミシオネス	1	生産者 35 名	---	---
飼料の保存に関する講習会	サン・ペドロ	1	生産者 25 名	---	---
集約的な肥育のための豆科の飼料作物の栽培に関する技術支援	コルディリエラ	1	4 世帯	---	---
ウシ海綿状脳症に関する講習会	アルト・パラナ カニンデジュ プレシデンテ・アジェス イタプア フォス・ド・イグアス	6	生産者 540 名	----	---
獣医学製品、動物の食品の登録及び管理及び専門家の登録に関する現行の基準に関する説明会	セントラル	1	所有者 商人 工場主		
職員の「製造の良き行い(BPM)」の認識改善	アルト・パラナ	1	熟練者 24 名	---	---
職員の衛生、乳製品の製造室の清掃と衛生	カアグアス	1	12 名		
乳製品加工場、チーズの製造、集荷センターの設置及び整備に興味ある人のための指導	サン・ペドロ セントラル アルト・パラナ	8	8 工場		
乳製品の製造工程検査のための訪問	アルト・パラナ カアグアス	10	10 施設		

分野	対象県	講習会	受益者数	目標	ジェンダー
	コルディリエラ セントラル				
計		433	6,093		

4. 第三者へのサービス

内容	個数
■ 漁業製品の運搬のための検査及び許可	28
■ 漁業製品の輸入施設の検査、許可及び再許可	55
■ 魚売り場及び集荷人の検査と許可	13
■ 衛生証明書	35
■ スポーツ・フィッシング・ライセンス	27
■ 商業フィッシング・ライセンス	182
■ スポーツ・フィッシング・トーナメント・ライセンス	8
■ 移動販売	2
■ 商業漁船	13
■ 屠殺場の検査と許可	16
■ 乳製品加工場の検査と許可	41
■ 冷蔵業者の検査と許可(鶏及び牛)	10
■ 豚の冷蔵業者の検査と許可	3
■ 肉及び副産物運搬の検査と許可	281
■ 腸詰及び臓物店の検査と許可	17
■ アイスクリーム工場の検査と許可	12
■ 獣医学製品の商業店の登録	46
■ 獣医学製品の登録	1584
■ 獣医の登録	378
■ 獣医学製品の輸入のための通関許可	440
■ 獣医学製品の輸出のための通関許可	46
■ 獣医業の検査と許可	58
■ 商店における獣医学製品の検査と監督	29
■ 動物性製品の輸出及び輸入業者の登録	69

5. 消費者保護のための組織的サービス

分析の種類	サンプル数	Analito数	対象範囲
環境汚染物の残留性 - 塩素酸塩系農薬 - リン素酸系農薬 - ポリ塩化ビフェニール - 重金属	1042	3761	全国
獣医学薬品の残留 - 寄生虫剤 - 殺菌剤 - 精神安定剤	910	2143	全国
同化作用剤 - ホルモン - B-Anogistas - Thyrostatic	1026	1555	全国
食品の細菌	9353	9353	全国
獣医学製品の物理・化学	26	26	全国
獣医学製品の物理	125	125	全国
栄養	933	933	全国
寄生虫	2998	2998	全国
細胞病理	480	480	全国
血液	958	958	全国

分析の種類	サンプル数	Analito数	対象範囲
生物化学	585	585	全国
細菌診断	1598	2598	全国
蜂蜜の品質管理	61	---	全国

6. 小規模農家の生産改善及び促進に対する支援

内容	個数	地域 県	受益者
■ 人工授精サービス	54	アスンシオン及び近郊 の牛乳生産地域	
■ 飼育箱及び養蜂農家の登録と許可	40	複数	養蜂農家 40 名
■ 豚コレラ・ワクチンの配布	179,700 分	17 県	生産者 4 万名
■ ニューカッスル病ワクチンの配布	2,293,500	17 件	生産者 4 万名
■ 精子の供与	2,990 分	複数の県	生産者団体、普及事務所、農業学校、受益者 1500 名
■ 精子の販売	3,005 分	複数	興味のある生産者
■ 蜂蜜の販売	1000 リッター	複数	生産者 70 名

7. 動物、畜産製品及び副産物の輸出許可。2001年1月から10月

製品	数量	輸出先
■ 冷凍、冷蔵及び缶詰肉(Kg)	37,734,286	チリ、ブラジル、ロシア、イスラエル、オランダ、コロンビア、ドイツ、サウジ・アラビア等
■ 臓物(Kg)	1,617,377	ペルー、ロシア、コロンビア、サウジ・アラビア、チリ等
■ 成果品及び未完成の牛の皮等(kg)	17,032,527	イタリア、スペイン、香港、ウルグアイ、ブラジル、タイ、シンガポール、中国等
■ 加工品(kg)	348,090	ブラジル、アメリカ、チリ、フランス、ドイツ、イギリス
■ 犬の咀嚼物(kg)	2,365,350	アメリカ、イギリス、イタリア、メキシコ、日本、アイルランド、ベルギー
■ たてがみ(Kg)	455,092	オランダ、ドイツ、アメリカ、アルゼンチン
■ 獣脂(Kg)	962,400	ブラジル
■ 内臓(Kg)	1,330,806	ドイツ、フランス、イタリア、ポルトガル等
■ 肉及び骨の製粉(Kg)	3,778,000	ブラジル
■ 馬(頭数)	18	アルゼンチン、ブラジル
■ 繁殖用の牛(頭数)	17	ボリビア
■ 魚(数)	217,290	アメリカ、ドイツ、イギリス、大英国
■ 観賞用の鳥(羽)	3	ペルー
■ 犬(数)	479	スペイン、ブラジル、アメリカ、

製品	数量	輸出先
		アルゼンチン、ウルグアイ、ドイツ、ボリビア、チリ、エクアドル、フランス、イタリア、スイス、メキシコ、ペルー、カナダ等
■ 粉末血液(kg)	384,174	チリ、中国、ブラジル
■ 軟骨(kg)	114,450	スペイン、アルゼンチン

7. 動物、畜産製品及び副産物の輸入許可。2001年1月から10月

製品	数量	原産国
■ 牛乳及び加工品(kg)	6,896,025	アルゼンチン、ブラジル、ウルグアイ、アメリカ、ニュージーランド、ドイツ、デンマーク
■ 鶏の肉及び加工品(kg)	337,448	ブラジル、アメリカ
■ 腸詰(kg)	412,496	ブラジル、アメリカ、アルゼンチン、スペイン
■ 豚肉(kg)	82,136	ブラジル
■ 鶏の卵(個数)	3,244,680	アルゼンチン、ブラジル
■ ダチョウの卵(個数)	1,410	アメリカ
■ 繁殖用の羊(頭数)	48	ウルグアイ
■ 生後1日のヒナ(数)	7,746,020	ブラジル
■ 繁殖用の馬(頭数)	79	アルゼンチン、ウルグアイ
■ 繁殖用の牛	378	ウルグアイ
■ 牛の精子(分量)	71,698	アルゼンチン、ブラジル、アメリカ、カナダ、ニュージーランド
■ 牛の受精卵(個数)	39	アメリカ、カナダ
■ 成果品、塩漬け、WBなめしの皮(Kg)	1,201,812	ブラジル、ベネズエラ、アルゼンチン、ウルグアイ、アメリカ
■ 内臓(kg)	1,211,020	ブラジル、チリ、スペイン
■ タテガミ(kg)	205,090	アルゼンチン、南アフリカ、中国、ウルグアイ
■ ハンバーグと加工肉(kg)	99,388	アルゼンチン、ブラジル、打つ具合
■ 肉のひき肉(kg)	210,450	アルゼンチン、ブラジル、韓国
■ 海魚(kg)	64,256	チリ、アルゼンチン、ブラジル等
■ 貝類(kg)	57,474	チリ、アルゼンチン、ドイツ、韓国
■ 魚の缶詰(kg)	97,047	エクアドル、ブラジル、アルゼンチン、イギリス等

9. 乳製品加工場における牛乳及び乳製品の衛生管理

製品	数量	場所
受領した生乳(リッター)	109,866,275	乳製品工場 23 社
低温殺菌牛乳(リッター)	49,106,100	
殺菌牛乳(リッター)	37,012,506	
味付き牛乳(リッター)	4,127,175	

製品	数量	場所
牛乳の飲み物(リッター)	490,644	
培養牛乳(リッター)	7,773	
やわいチーズ(Kg)	276,115	
やや硬めチーズ(Kg)	1,131,169	
パラグアイ・チーズ(Kg)	221,514	
硬いチーズ(Kg)	145,402	
ヨーグルト(リッター)	16,584,813	
ダイエット・ヨーグルト	1,065,106	
バター(Kg)	264,810	
牛乳のママレード(リッター)	905,484	
リコッタ(Kg)	26,244	
アイスクリーム(Kg)	252,282	
プディング(Kg)	124,790	

注)：許可された 41 社のうち 23 社の工場から得た情報。

用語集

EEB :	ウシ海綿状脳症 Encefalopatía Espongiforme Bovina
FCV :	ウシ海綿状脳症 Encefalopatía Espongiforme Bovina
ARP :	獣医学部 Facultad de Ciencias Veterinarias
EEGC :	パラグアイ農村連盟 Asociación Rural del Paraguay
EEB :	バレリート試験場 Estación Experimental Barrerito
SPII :	パラグアイ伝染病学及び免疫学学会。 Sociedad Paraguaya de Infectología e Inmunología
DINOCOA :	食品基準管理局 Dirección de Normas de Control de Alimentos
VMC :	畜産官房 Viceministerio de Ganadería
CEA :	農牧試験のための畜産連盟 Consorcio de Ganadería para la Experimentación Agropecuaria
FM :	医学部 Facultad de Medicina

(印)

パラグアイ共和国

農牧省

国立家畜衛生サービス

SENACSA

家畜衛生事業に関連する

統計情報

2001 年度

統計課
私書箱 1130 番
パラグアイ-アスンシオン

技術サービス総局
統計課

登録所有者及び口蹄疫の予防接種行っている牛

東部地方-2001年2月-3月の予防接種

パラグアイ-SENACSA

地理的地域 地方事務所	登録所有者数	予防接種した牛
第一区 コンセプション	4,995	629,713
コンセプション	2,246	369,461
ウブ・ジャウ	1,251	190,347
オルケタ	1,498	69,905
第二区 サン・ペドロ北部	5,604	527,116
サン・ペドロ	2,727	180,549
リマ	1,878	116,535
タクアティ	999	230,082
第二区 サン・ペドロ南部	12,065	456,993
サン・エスタニスラオ	8,807	288,276
ビリャ・デル・ロサリオ	3,258	168,717
第三区 コルディリエラ	4,813	164,324
エウセビオ・アジャラ	2,432	78,929
アロジョス・イ・エステロス	1,751	70,365
ウパカライ	630	15,030
第四区 グアイラ	6,643	138,981
ビリャリカ	4,824	104,127
イツルベ	1,819	34,854
第五区 カアグス	9,180	352,602
コロネル・オビエド	4,122	193,207
カアグアス	2,125	65,323
ホタ・エ・エティガリビア	2,933	94,072
第六区 カアサバ	8,810	260,439
カアサバ	2,577	114,728
ジュツ	2,021	63,149
サン・ホタ・ネポムセノ	2,933	82,562
第七区 イタプア	11,586	355,425
エンカルナシオン	1,628	58,230
コロネル・ボガド	2,253	67,746
マリア・アウシリアドラ	4,005	70,827
オエナウ	1,518	68,114
サン・ペドロ・デル・パラナ	2,182	90,508
第八区 ミシオネス	3,888	363,505
サン・イグナシオ	2,422	134,569
サン・フアン・パウティスタ	1,704	125,768
サンチアゴ	1,651	103,168
第九区 パラグアリ	1,755	345,169
パラグアリ	1,424	40,263
カラペグア	4,010	83,774
カアプク	2,406	116,334
ククオ	1,895	69,917
カバリエロ	1,586	34,881
第十区 アルト・パラナ	9,681	293,265
エステ市	689	63,670
サンタ・リタ	1,891	81,476
サン・アルベルト	1,299	148,119
第十一区 セントラル	1,755	46,463
サン・ロレンソ	772	7,109
グアランバレ	515	27,237
マリアノ・ロケ・アロンソ	468	12,117

登録所有者及び口蹄疫の予防接種行っている牛

東部地方-2001年2月-3月の予防接種

パラグアイ-SENACSA

地理的地域 地方事務所	登録所有者数	予防接種した牛
第十二区 ニュエンブク	9,681	402,510
ピラル	2,124	67,688
デスモチャド	3,967	98,349
サン・フアン・ニュエンブク	2,277	144,744
アルベルディ	1,313	91,729
第十三区 アマンバイ	1,425	567,657
ペドロ・フアン・カバリエロ	810	252,137
ベリヤ・ビスタ	248	74,980
カピタン・バド	367	240,540
第十四区 カニンデジュ	3,642	605,462
サルトス・デル・グアイラ	509	124,168
クルグアツ	1,514	184,471
コルプス・クリスティ	740	112,324
ヌエバ・エスペランサ	642	68,537
ウペ・フ	237	115,962
東部地方	101,185	5,509,674
西部地方	9,306	2,403,140
全国計	110,491	7,912,814

dif0301

出展：統計課。SENACSA

02/06/05

登録所有者及び口蹄疫の予防接種行っている牛

西部地方-2001年2月-3月の予防接種

パラグアイ-SENACSA

地理的地域	登録所有者数	予防接種した牛
西部地方事務所		
第十五A区 プレシデンテ・アジェス	2,936	737,390
ビリャ・アジェス	979	507,914
コロニア・ファルコン	596	90,966
エステバン・マルティネス	588	70,723
コマンダンテ・パストル・バンド	773	67,787
第十五B区 プレシデンテ・アジェス	1,457	556,501
ボン・コロラド a)	542	363,104
アバロス・サンチェス	393	96,650
リアチョ・ゴンサレス	522	96,747
第十六区 アルト・パラグアイ	962	191,127
フェルテ・オリンポ	507	73,154
ラ・エスペランサ港	167	13,843
カルメロ・ペラルタ	80	24,991
バイア・ネグラ	208	79,139
第十七区 ボケロン	3,951	918,122
フィラデルフィア	2,100	566,175
イララ・フェルナンデス	1,032	136,147
ネウランド	759	153,358
マリスカル・エスティガリビア	60	62,442
西部地方	9,306	2,403,140
東部地方	101,185	5,509,674
全国	110,491	7,912,814

a) この事務所はフェルナンデス・イララ地方事務所を結成するために分割しており、現在 557 所有者と 366,223 頭の牛が居る。

dif0301

出展：統計課。SENACSA

02/06/05

登録所有者及び口蹄疫の予防接種を行っている牛
 衛生地区別-2001年5月-6月の予防接種
 パラグアイ-SENACSA

地理的地域 衛生区	登録所有者数	予防接種した牛
東部地域	104,367	5,264,025
第一区 コンセプション	4,181	582,965
第二区 サン・ペドロ北部	5,945	524,527
第二区 サン・ペドロ南部	11,243	442,395
第三区 コルディリエラ	5,528	151,711
第四区 グアイラ	7,073	134,649
第五区 カアグス	8,768	337,149
第六区 カアサバ	8,723	240,765
第七区 イタブア	12,830	353,887
第八区 ミシオネス	6,444	357,810
第九区 パラグアリ	11,356	326,831
第十区 アルト・パラナ	3,957	160,967
第十一区 セントラル	2,338	48,303
第十二区 ニュエンブク	10,123	401,184
第十三区 アマンバイ	1,442	567,536
第十四区 カニンデジュ	4,416	633,346
西部地方	9,293	2,370,801
第十五 A 区 プレシデンテ・アジェス	3,000	716,543
第十五 B 区 プレシデンテ・アジェス	1,419	553,844
第十六区 アルト・パラグアイ	933	207,940
第十七区 ボケロン	3,881	892,474
全国	113,660	7,634,826

注) 予防接種の戦略的補充も含む

dif0301

出展：統計課。SENACSA

02/06/05

登録所有者及び口蹄疫の予防接種行っている牛

東部地方-2001年6月の予防接種

パラグアイ-SENACSA

地理的地域 地方事務所	登録所有者数	予防接種した牛
第一区 コンセプション	4,181	582,965
コンセプション	1,836	339,369
ウブ・ジャウ	1,317	180,309
オルケタ	1,028	63,287
第二区 サン・ペドロ北部	5,945	524,527
サン・ペドロ	2,948	202,580
リマ	1,941	109,205
タクアティ	1,056	212,742
第二区 サン・ペドロ南部	11,243	442,395
サン・エスタニスラオ	7,851	276,907
ビリャ・デル・ロサリオ	3,392	165,488
第三区 コルディリエラ	5,528	151,711
エウセビオ・アジャラ	2,812	72,527
アロジョス・イ・エステロス	1,828	61,892
ウパカライ	888	17,297
第四区 グアイラ	7,073	134,649
ビリャリカ	5,222	102,148
イツルベ	1,851	32,501
第五区 カアグス	8,768	337,149
コロネル・オビエド	3,487	172,997
カアグアス	1,934	66,862
ホタ・エ・エティガリビア	3,347	97,290
第六区 カアサバ	8,723	240,865
カアサバ	2,428	104,015
ジュツ	1,968	54,303
サン・ホタ・ネポムセノ	4,327	82,447
第七区 イタプア	12,830	353,887
エンカルナシオン	2,168	60,665
コロネル・ボガド	2,488	69,501
マリア・アウシリアドラ	4,051	69,021
オエナウ	1,897	70,701
サン・ペドロ・デル・パラナ	2,226	83,999
第八区 ミシオネス	6,444	357,810
サン・イグナシオ	2,840	123,593
サン・フアン・パウティスタ	1,834	135,491
サンチアゴ	1,770	98,726
第九区 パラグアリ	11,356	326,931
パラグアリ	1,569	41,586
カラベグア	3,717	77,904
カアプク	2,518	108,189
ククオ	1,958	64,481
カバリエロ	1,594	34,671
第十区 アルト・パラナ	3,957	160,967
エステ市	740	61,609
サンタ・リタ	1,613	83,952
サン・アルベルト	1,604	15,408
第十一区 セントラル	2,338	48,303
サン・ロレンソ	1,053	9,473
グアランバレ	537	25,626
マリアノ・ロケ・アロンソ	748	13,204

登録所有者及び口蹄疫の予防接種行っている牛
 東部地方-2001年6月の予防接種
 パラグアイ-SENACSA

地理的地域 地方事務所	登録所有者数	予防接種した牛
第十二区 ニェエンブク	10,123	401,184
ピラル	2,425	69,795
デスモチャド	3,970	97,734
サン・フアン・ニェエンブク	2,397	145,764
アルベルディ	1,331	87,891
第十三区 アマンバイ	1,442	567,536
ペドロ・フアン・カバリェロ	821	253,560
ベリヤ・ビスタ	253	76,467
カピタン・バド	368	237,509
第十四区 カニンデジュ	4,416	633,346
サルトス・デル・グアイラ	574	128,239
クルグアツ	1,519	185,596
コルプス・クリスティ	748	111,282
ヌエバ・エスペランサ	1,168	76,295
ウベ・フ	407	131,934
東部地方	104,367	5,264,025
西部地方	9,293	237,801
全国計	113,660	7,634,826

dif0301

出展：統計課。SENACSA

02/06/05

登録所有者及び口蹄疫の予防接種を行っている牛

西部地方-2001年6月の予防接種

パラグアイ-SENACSA

地理的地域 西部地方事務所	登録所有者数	予防接種した牛
第十五A区 プレシデンテ・アジェス	3,000	716,543
ビリャ・アジェス	1,067	496,393
コロニア・ファルコン	570	76,310
エステバン・マルティネス	612	77,155
コマンダンテ・パストル・パンド	751	66,685
第十五B区 プレシデンテ・アジェス	1,419	553,844
ボソ・コロラド	503	360,591
アバロス・サンチェス	407	97,280
リアチョ・ゴンサレス	509	95,973
第十六区 アルト・パラグアイ	993	207,940
フエルテ・オリンポ	532	87,381
ラ・エスペランサ港	163	15,456
カルメロ・ペラルタ	84	26,236
バイア・ネグラ	214	78,867
第十七区 ボケロン	3,881	892,474
フィラデルフィア	2,037	547,766
イララ・フェルナンデス	1,014	129,099
ネウランド	774	163,494
マリスカル・エスティガリビア	56	52,115
西部地方	9,293	2,370,801
東部地方	104,367	5,264,025
全国	113,660	7,634,826

dif0301

出展：統計課。SENACSA

02/06/05

ポスト別動物衛生管理
2001年1月から12月
SENACSA-パラグアイ

管理ポスト	個数	
	群	頭数
コンセプション c)	7,673	193,237
ウバポボ港	270	7,733
ロサリオ a)	245	7,956
サンタ・ロサ・デル・アグアラウ	5,142	189,208
タクアラ	7,880	318,959
ウパネ	266	9,517
ボカジャツ f)	105	3,175
サン・ホセ(カアグアス)	12,595	484,923
ホタ・エウロヒオ・エステイガリビア a)	77	2,468
サン・ラモン	1,096	48,255
ビリャ・フロリダ	3,074	115,797
パラグアリ c)	4,424	153,946
カラペグア a)	27	1,385
カアプク a)	133	6,856
ククオ a)	4	199
カバリエロ a)	131	2,674
国道7号線 30km 地点	1,875	56,342
クルセ・イタクル a)	5	156
ミナス(エンボスカダ) e)	363	6,633
エステロ・カンバ	838	31,294
レマンソ橋	385	19,853
クルセ・ベリャ・ビスタ (ウブ・ジャウ)	1,940	83,559
カピタン・バド a)	15	1,463
ベリャ・ビスタ a)	9	1,858
カロリナ	1,417	52,517
ビスタ・アレグレ (ビリャ・アジェス)	16,549	563,444
バリリ (旧タラベラ)	1,037	33,249
フォルティン・カバリエロ	73	3,349
クルセ・パラトド	1,153	43,864
マリスカル・エステイガリビア	718	23,618
ブサルキス	464	13,648
テニエンテ・モンタニア	451	9,779
インファンテ・リパロラ	b)	b)
リオ・ベルデ	8,033	337,981
計	78,467	2,838,895

a) 移動検査

b) 動物の移動なし

f) 10月から

c) 移動検査を含む

e) 7月から

出展：SENACSA 統計課

est2001

ブルセラ病診断試験を行った動物
 原産県別、2001年1月から12月
 SENACSA-パラグアイ

原産地	ロット				サンプル			
	合計	陽性	疑	陰性	合計	陽性	疑	陰性
コンセプション	76	21	6	49	2,649	50	12	2,587
サン・ペドロ	62	21	2	39	2,605	89	16	2,500
コルディリエラ	65	19	1	45	3,437	161	10	298
グアイラ	24	4	0	20	333	33	2	3,266
カアグス	994	18	3	973	7,266	178	14	7,074
カアサパ	29	1	1	27	626	2	3	621
イタプア	70	7	1	62	1,376	96	4	1,278
ミシオネス	78	12	1	65	2,385	256	5	2,114
パラグアリ	90	6	2	82	1,524	12	3	1,509
アルト・パラナ	54	7	1	46	1,322	71	1	1,250
セントラル	107	8	5	94	2,855	169	25	2,661
ニエンプク	91	8	1	85	801	34	2	765
アマンバイ	39	20	0	19	2,411	192	17	2,202
カニンデジュ	356	34	4	318	4,645	330	28	4,287
プレシデンテ・アジェス	199	59	16	124	15,953	841	106	15,006
アルト・パラグアイ	4	1	0	3	36	1	0	35
ボケロン	196	30	8	158	8,454	768	66	7,620
計	2,537	276	52	2,209	58,680	3,293	314	55,073

注： 獣医学診断センター及び SENACSA の報告より処理したもの。

出展： SENACSA 統計課

est2001

ツベルクリン試験を行った動物
 原産県別、2001年1月から12月
 SENACSA-パラグアイ

原産地	ロット			サンプル 合計	診断	
	合計	陽性	陰性		陽性	陰性
コンセプション	18	1	17	401	1	400
サン・ペドロ	30	1	29	866	5	861
コルディリエラ	20	3	17	540	24	516
グアイラ	2	0	2	37	0	37
カアグス	970	28	942	6,865	44	6,821
カアサパ	4	0	4	184	0	184
イタプア	54	3	51	490	11	479
ミシオネス	11	0	11	391	0	391
パラグアリ	40	4	36	776	9	757
アルト・パラナ	27	1	26	872	2	870
セントラル	42	2	40	625	4	621
ニェエンブク	41	0	41	383	0	383
アマンバイ	12	0	12	578	0	578
カニンデジュ	317	1	316	1,875	1	1,874
プレシデンテ・アジェス	71	1	70	2,088	2	2,086
アルト・パラグアイ	0	0	0	0	0	0
ボケロン	110	0	110	1,875	0	1,875
計	1,769	45	1,724	18,846	103	18,743

出展：SENACSA 統計課

est2001

県別の狂犬病の診断数
2001年1月から12月
SENACSA-パラグアイ

研究所：SENACSA 及び公共衛生及び社会福祉省

県	サンプル 合計	診断	
		陽性	陰性
コンセプション	15	10	5
サン・ペドロ	55	20	35
コルディリエラ	22	5	17
グアイラ	17	7	10
カアグス	18	2	16
カアサパ	10	3	7
イタプア	27	10	17
ミシオネス	15	2	13
パラグアリ	23	4	19
アルト・パラナ	26	14	12
セントラル	387	3	384
ニュエンブク	7	0	7
アマンバイ	29	12	17
カニンデジュ	3	0	3
プレシデンテ・アジェス	47	24	23
アルト・パラグアイ	2	0	2
ボケロン	31	23	8
計	734	139	595

出展：SENACSA 統計課

est2001

種別の狂犬病の診断数
 2001年1月から12月
 SENACSA-パラグアイ

研究所：SENACSA 及び公共衛生及び社会福祉省

種類	サンプル 合計	診断	
		陽性	陰性
牛類	248	111	137
犬類	370	26	344
山羊類	2	1	1
カピバラ	1	0	1
アカハナグマ	2	0	2
兎類	5	0	5
馬類	10	1	9
猫類	49	0	49
アライグマ	1	0	1
羊類	4	0	4
サル類	3	0	3
コウモリ類	10	0	10
ネズミ類	23	0	23
豚類	4	0	4
キツネ類	2	0	2
計	734	139	595

出展：SENACSA 統計課

est2001

県別の登録所有者数及びニューカッスル病ワクチン接種した鶏

2001年1月から12月

SENACSA-パラグアイ

県	登録所有者	予防接種した鶏
コンセプション	50	6,915
サン・ペドロ	1,708	99,348
コルディリエラ	104	1,402,960
グアイラ	755	56,030
カアグス	1,481	15,486
カアサパ	790	100,206
イタプア	300	201,050
ミンオネス	42	3,040
パラグアリ	1	247,300
アルト・パラナ	414	114,660
セントラル	207	5,592,760
ニェエンブク	11	1,380
アマンバイ	84	8,420
カニンデジュ	60	4,500
計	6,007	7,989,055

注：

ニューカッスル調整部より送付された情報による。

出展：SENACSA 統計課

est2001

県別の登録所有者数及び豚コレラ・ワクチン接種した豚

2001年1月から12月

SENACSA-バラグアイ

県	登録所有者	予防接種した豚
コンセプション	13	160
サン・ペドロ	419	10,245
コルディリエラ	94	1,854
グアイラ	460	6,630
カアグス	1,197	11,839
カアサパ	429	8,069
イタブア	397	21,029
ミシオネス	147	596
バラグアリ	1	25
アルト・パラナ	183	9,363
セントラル	187	6,751
ニェエンブク	27	950
アマンバイ	10	1,250
カニンデジュ	15	1,080
計	3,579	79,871

注：

豚コレラ調整部より送付された情報による。

出展：SENACSA 統計課

est2001

馬伝染性貧血の診断
 原産県別、2001年1月から12月
 SENACSA-パラグアイ

原産地	登録 所有者数	サンプル 合計	診断	
			陽性	陰性
コンセプション	12	231	20	211
サン・ペドロ	145	1,053	84	969
コルディリエラ	95	613	79	534
グアイラ	16	261	38	223
カアグス	80	1,062	31	1,031
カアサパ	27	446	63	383
イタプア	17	140	39	101
ミシオネス	179	1,257	122	1,135
パラグアリ	83	1,830	43	1,787
アルト・パラナ	19	332	1	331
セントラル	218	1,761	83	1,678
ニエエンブク	30	610	259	351
アマンバイ	6	50	19	31
カニンデジュ	31	294	3	291
プレシデンテ・アジェス	97	1,499	276	1,223
アルト・パラグアイ	3	68	12	56
ボケロン	261	2,895	240	2,655
アルゼンチン	5	15	-	15
計	1,324	14,417	1,412	13,005

注：

SENACSA の研究所総局及び獣医学診断センターより送付された様式より処理したもの。

出展：SENACSA 統計課

est2001